

平成 23 年 5 月 18 日  
気象庁地球環境・海洋部気候情報課

## JRA-25 日別平滑化平年値（1979～2004 年）の誤りについて

JRA-25/JCDAS ホームページでこれまで公開していた JRA-25 日別平滑化平年値（1979～2004 年）に以下のような誤りがあったことが判明しました。

- ・これまで公開していた日別平滑化平年値（1979～2004 年）は正しい値と比べて 1 日遅れた平年値となっていました。
- ・誤差の大きさは、平年値の季節変化の振幅に対して最大で約 50 分の 1 と見積もられます（図 1・2）。

これらは平滑化処理における以下のような誤りが原因であることが分かりました。

- ・日別平滑化処理に用いているランチョスフィルターが、本来適用されるべき日から 1 日前にずれて適用されていました。
- ・また、ランチョスフィルターの規格化処理にも誤りがありました。  
（誤って適用されたフィルターと正しいものとの比較については図 3 をご覧ください。）

利用者の皆様には、誤ったデータにより大変ご迷惑をおかけしましたことを深くお詫び申し上げます。

新たに公開を開始した新平年値（1981～2010 年）の計算では、正しい算出方法を用いており、誤りがないことを確認しております。

今後は作業工程を見直し、再発防止に努めてまいります。

### 問い合わせ先

気象庁地球環境・海洋部気候情報課データ処理係  
電話 03-3212-8341（内線）3164  
メール [jra@met.kishou.go.jp](mailto:jra@met.kishou.go.jp)

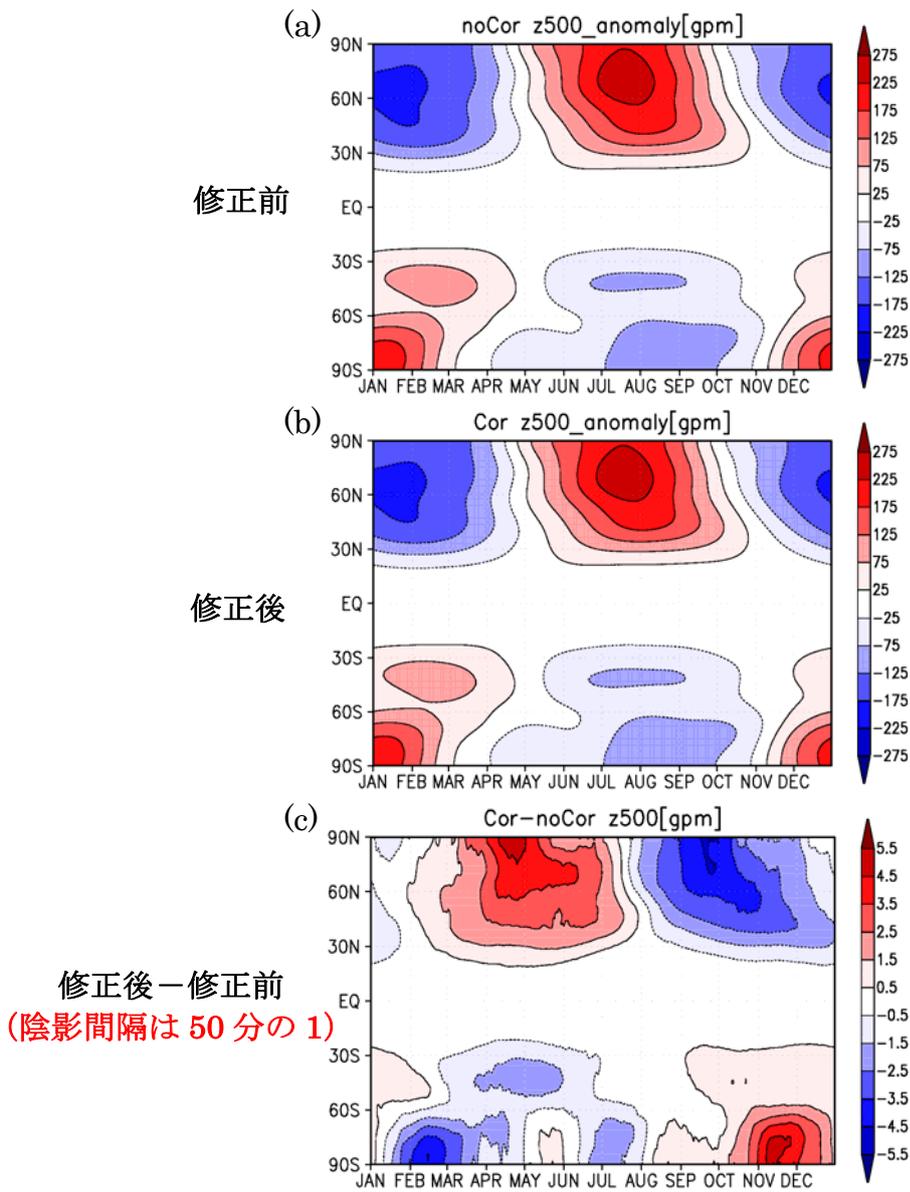


図1 500hPa 高度場の日別平滑化平年値の季節変化成分の緯度時間断面図  
 (a) 修正前、(b) 修正後、(c) 修正後-修正前  
 注: 修正前後の差の図 (c) は生値の図 (a、b) の 50 分の 1 の陰影間隔で描画しています。

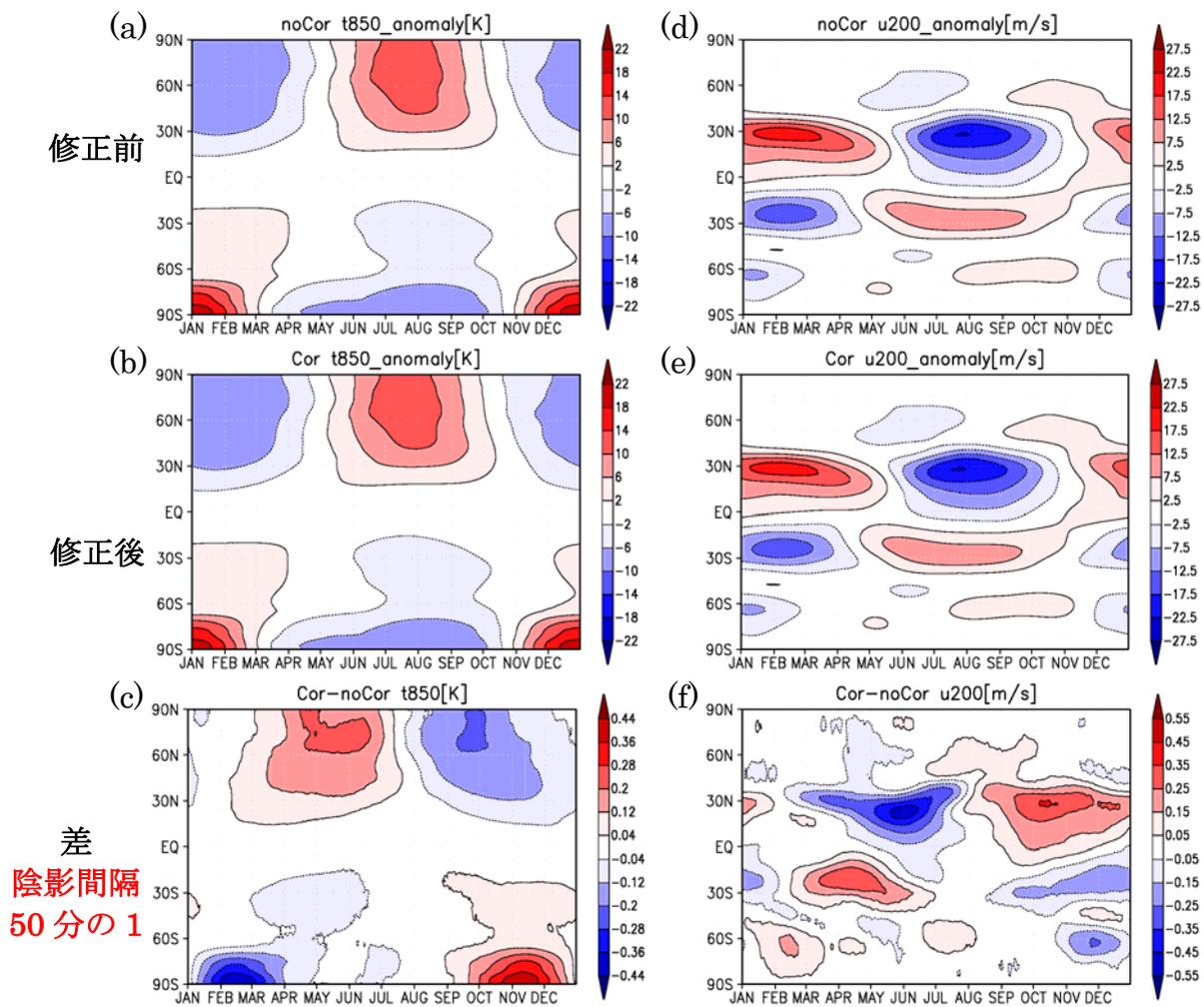


図2 850hPa 気温場 (a、 b、 c)、及び 200hPa 東西風 (d、 e、 f) の日別平滑化平年値の季節変化成分の緯度時間断面図

(a、 d) 修正前、(b、 e) 修正後、(c、 f) 修正後－修正前

注：修正前後の差の図 (c、 f) は生値の図 (a、 b、 d、 e) の 50 分の 1 の陰影間隔で描画しています。

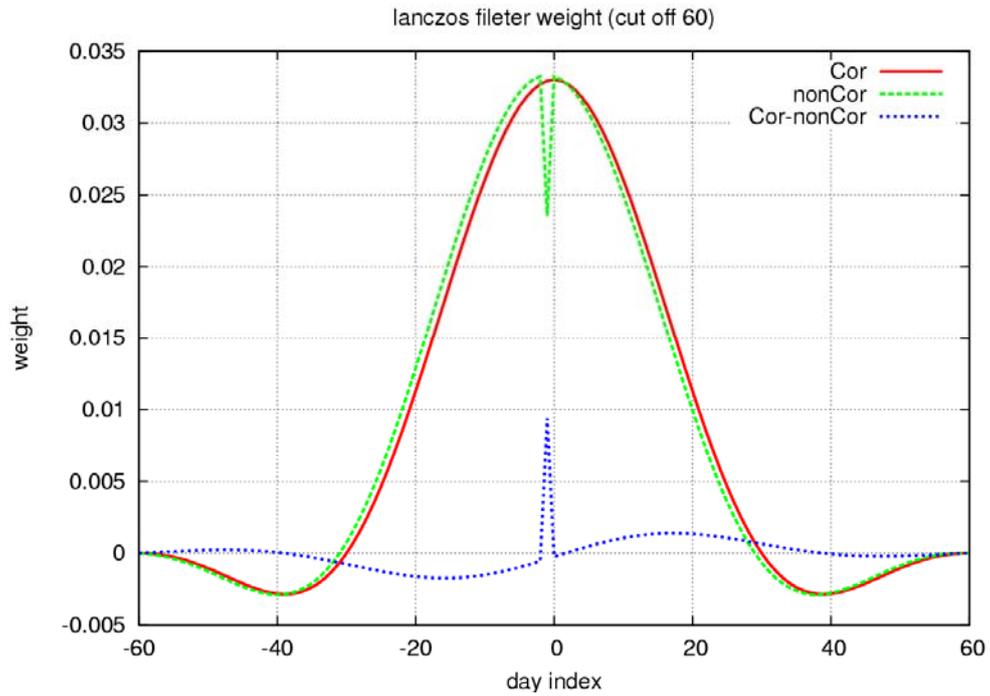


図3 平滑化に用いている応答関数

(緑) 修正前、(赤) 修正後、(青) 修正後－修正前

修正前の応答関数のピークが左にずれているのは、応答関数が1日前にずれて適用されていたことによるものです。また、応答関数の中心付近が落ち込んでいるのは、規格化処理に誤りがあったことによるものです。